

事業名	富士山総合保全対策推進事業費		
細事業名	富士山美化啓発清掃活動費補助金	財務コード	371004
担当部課室	観光 部 観光資源 課 富士山山岳 担当 (内線)	4308	

事業の概要

実施期間	始期 S55 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助((公財)富士山をきれいにする会、富士山及び周辺美化推進協議会)		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	富士山(五合目周辺及び七~八合目の登山道)、富士北麓周辺地域	美化が保たれている	富士山の自然環境及び美しい景観の保全
事業の内容 主にH26年度	富士山及び周辺地域において美化清掃活動による環境保全を目的として設立された「(公財)富士山をきれいにする会」と「富士山及び周辺美化推進協議会」に対する美化清掃事業への補助。 事業内容 富士山登山道(五合目周辺、七~八合目)及び富士五湖周辺等の清掃活動、ゴミ搬出、富士北麓市町村及び企業への清掃活動用ゴミ袋配布 補助先:(公財)富士山をきれいにする会、富士山及び周辺美化推進協議会 補助率:1/2以内 補助対象:美化清掃活動にかかる経費(ゴミの回収、搬出・処理等)		
根拠法令等	富士山美化啓発清掃活動費補助金交付要綱		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	・富士山クリーン作戦参加者数(五合目周辺)前期+後期	2,150人	2,150人	2,150人	2,150人	2,150人	目標設定の考え方 過去の実績を参考とした
	・富士山及び周辺美化推進協議会清掃活動参加延べ人数(七~八合目)	延べ364人	延べ364人	延べ368人	延べ360人	延べ360人	データの出典等
	活動指標達成率(実績値/目標値)			100.2 %			補助金実績報告書
成果指標	・富士山クリーン作戦ゴミ回収量(五合目周辺)前期+後期	450kg	450kg	300kg	300kg	300kg	目標設定の考え方 過去の実績を参考とした
	・富士山及び周辺美化推進協議会清掃活動ゴミ回収量(七~八合目)	1,340kg	1,300kg	500kg	500kg	500kg	データの出典等
	成果指標達成率(実績値/目標値)			45.7 %			補助金実績報告書
決算額又は予算額(千円)	1,470		1,470	1,470	1,470	成果指標によらない成果	
うち一財額	1,470		1,470	1,470	1,470	クリーン作戦や清掃活動への参加者数やゴミの回収量については、天候等に左右されるため、年度により増減はあるが、クリーン作戦等を継続的に実施することにより、富士山の環境保全の必要性・重要性への理解が深まり、美しい富士山をいつまでも後世に引き継ごうという機運を醸成している。	
所要時間(直接分)	50 時間		50 時間	50 時間	50 時間		
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	50 時間		50 時間	50 時間	50 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,048円×所要時間)	102		102	102	102		

これまでの事業の見直し・改善状況

・平成17年度に富士山の美化清掃事業への補助事業として「(公財)富士山をきれいにする会」と「富士山及び周辺美化推進協議会」に対する補助事業を一本化。 ・平成22年度から、「富士山及び周辺美化推進協議会」は消耗品等の経費の削減を図り、補助額130,000円を減額した。(10%減)
--

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定 H26年度 活動指標 の達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)  
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H26年度 成果指標 の達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
c	c	五合目周辺のゴミ回収量は、目標値450kgに対し、実績値300kgであり、七～八合目のゴミ回収量は、目標値1,300kgに対し、実績値500kgであったので、達成率は45.7%であった。よって、成果にかかる一次評価はcとなる。 しかし、ゴミの回収量の減少は、富士山の環境保全の必要性・重要性への理解が深まり、富士山へのゴミの投棄量が減少したことを意味しており、清掃活動等を継続して実施してきた成果であるといえる。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
有	世界文化遺産に登録された富士山を中心とした周辺の自然はその美しさもあり、昔から信仰や芸術の対象として親しまれてきた。この美しい自然環境を後世に残す活動を通じ、環境保全への意識の啓発を目的に、清掃活動等を継続的に実施し、観光客や登山者によるゴミの投棄量が減少してきている。 今後は、県のホームページでも清掃活動・その状況等の周知を行うことで、一層の美化意識の啓発と、清掃活動への参加人数の増加を図っていく。	b

・「以外の判断項目」の欄  
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託  
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: 7Qの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方角(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方角	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方角」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	県のホームページでも清掃活動の周知を行い、一層の美化意識の啓発と、清掃活動への参加人数の増加を図っていく。

・見直しの方角は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること  
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること